



2024年6月期（第66期）第2四半期 決算説明会資料

2024.02.22

1. 決算の概要

2. セグメント別の業績状況

3. 2024年6月期（第66期）の見通し

4. より賢慮に満ちた未来社会の実現に向けて

【本資料についてのご注意】

- 本資料の記載金額は原則、百万円未満を切り捨てて表示しております。
- 本資料に記載されている将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。
- 本資料に記載されている会社名、システム名、製品名は、一般に(株)構造計画研究所ならびに各社の商標または登録商標です。

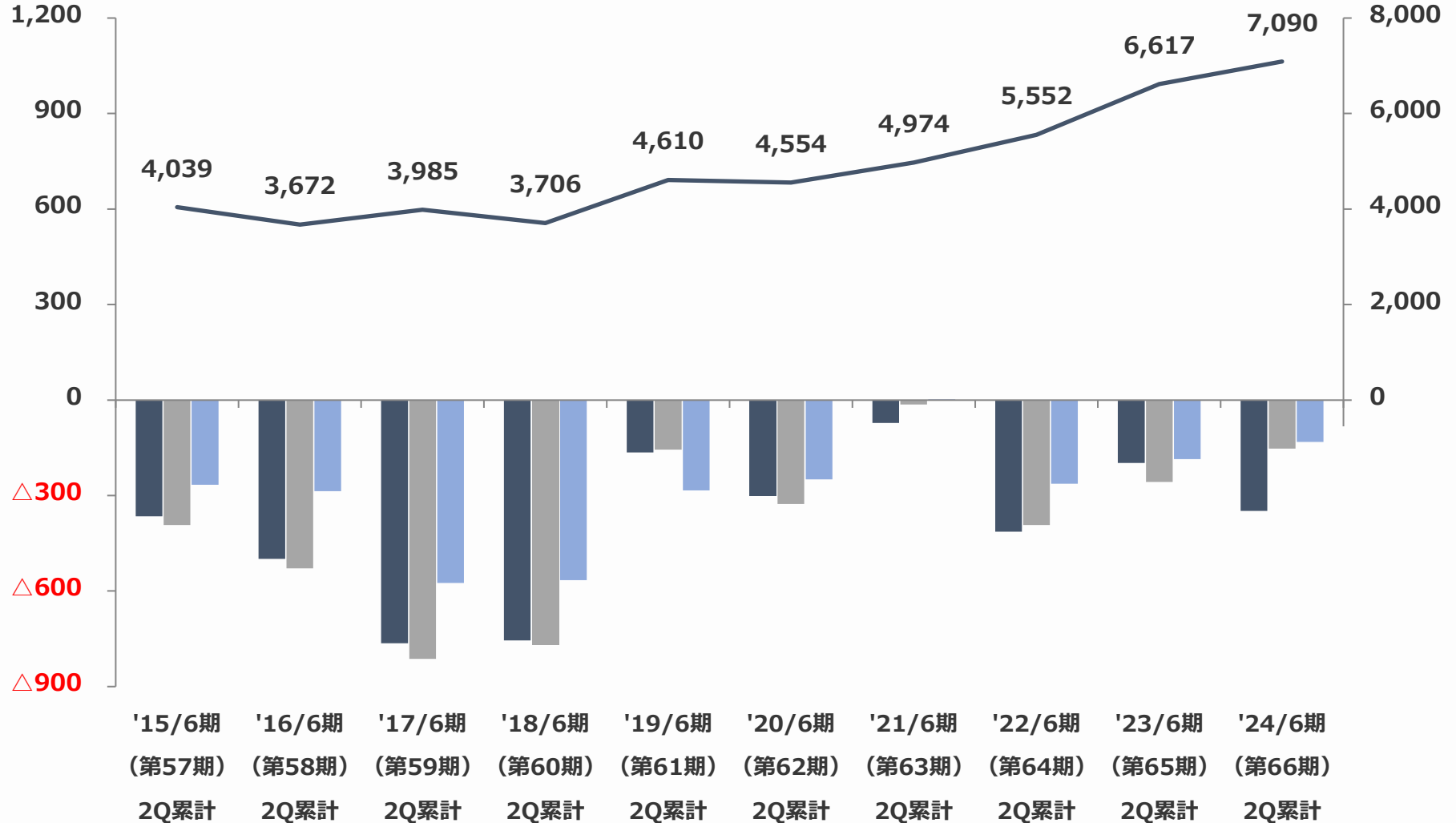
1

決算の概要

科目	'23/6期 2Q (第65期)	'24/6期 2Q (第66期)	増減	増減割合
売上高	6,617	7,090	472	7.1%
売上原価	3,811	4,148	336	8.8%
売上総利益 (利益率)	2,805 (42.4%)	2,941 (41.5%)	135	4.8%
販売費及び一般管理費	3,004	3,290	286	9.5%
営業利益 (△損失) (利益率)	△198 (△3.0%)	△348 (△4.9%)	△150	—
営業外損益	△59	195	254	—
経常利益 (△損失) (利益率)	△257 (△3.9%)	△153 (△2.2%)	104	—
特別損益	—	0	0	—
税引前四半期純利益 (△損失)	△257	△152	104	—
法人税等	△70	△19	50	—
四半期純利益 (△損失) (利益率)	△186 (△2.8%)	△132 (△1.9%)	53	—

第2四半期の業績推移

利益（単位：百万円） ■ 営業利益（損失△） ■ 経常利益（損失△） ■ 四半期純利益（損失△） — 売上高 売上（単位：百万円）



貸借対照表（前期末比較）

（単位：百万円）

科目	'23/6期末 (第65期)	'24/6期 2Q (第66期)	増減額	科目	'23/6期末 (第65期)	'24/6期 2Q (第66期)	増減額
現金及び預金	2,399	1,036	△1,363	短期借入金	—	1,800	1,800
受取手形・売掛金 ・契約資産	2,780	2,970	190	1年内返済予定の 長期借入金・社債	958	482	△475
仕掛品	22	57	34	前受金	1,197	1,358	160
その他	1,751	2,133	381	未払費用	1,750	249	△1,501
				その他	1,791	1,733	△57
【流動資産】	6,954	6,198	△756	【流動負債】	5,697	5,623	△74
有形固定資産	5,427	5,461	34	長期借入金	650	430	△220
無形固定資産	378	337	△40	退職給付引当金	2,316	2,387	71
投資その他の資産	5,547	5,631	83	その他	342	388	46
投資有価証券	2,777	2,791	13	【固定負債】	3,308	3,206	△102
関係会社株式	1,109	1,109	—	【負債の部】	9,006	8,829	△176
関係会社出資金	56	56	0	資本金	1,010	1,010	—
繰延税金資産	1,177	1,251	73	資本剰余金	1,353	1,367	14
その他	425	421	△3	利益剰余金	7,121	6,388	△732
【固定資産】	11,353	11,431	78	自己株式	△613	△285	328
				その他有価証券 評価差額金	430	318	△112
				【純資産の部】	9,301	8,799	△501
【資産の部】	18,307	17,629	△678	【負債及び 純資産の部】	18,307	17,629	△678

※ 1 自己資本比率 '23/6期末 (50.8%) '24/6期 2Q (49.9%)

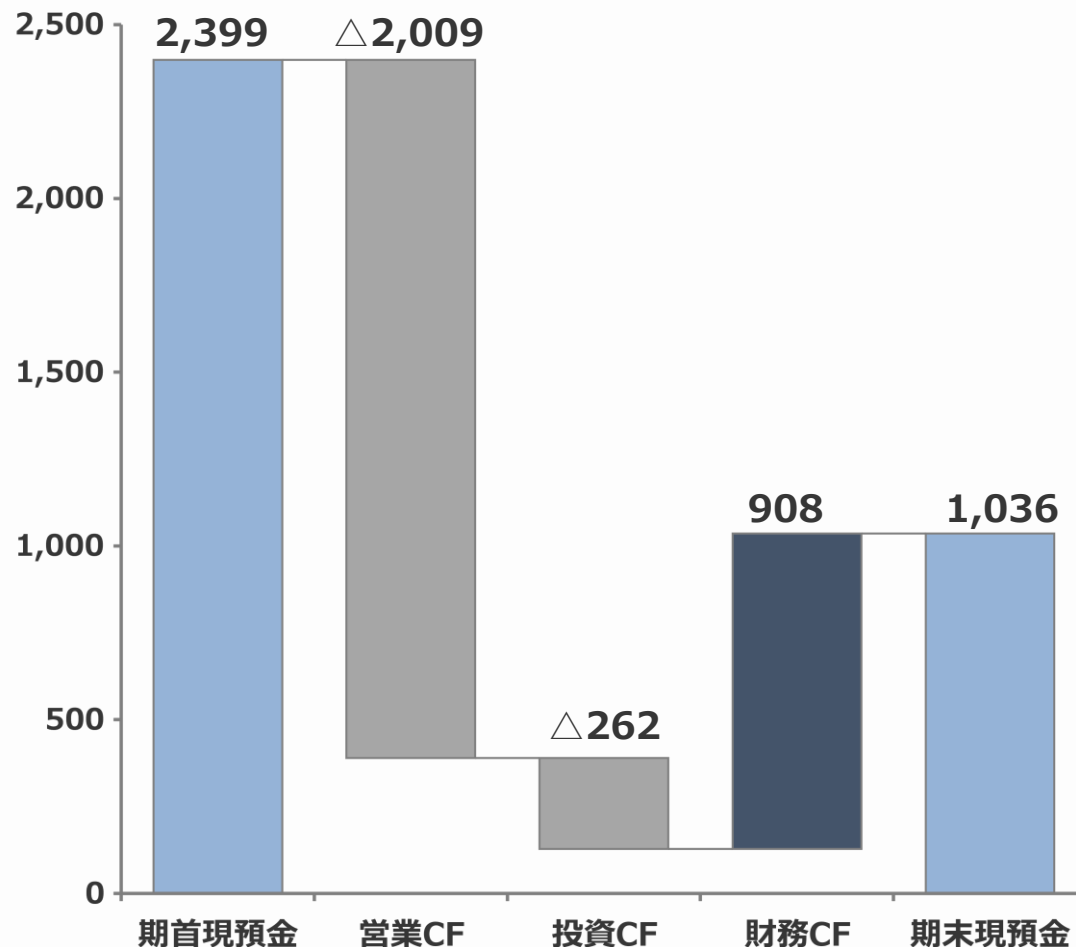
※ 2 ESOP取込の影響：'23/6期末：自己株式に410百万円、1年内長期借入金に393百万円が含まれる

https://www.kke.co.jp/：'24/6期 2Q：自己株式に136百万円、1年内長期借入金に42百万円が含まれる

(単位：百万円)

	'23/6期2Q (第65期)	'24/6期2Q (第66期)	増減額
期首現預金残高	2,560	2,399	△160
営業活動CF	△1,640	△2,009	△368
投資活動CF	△248	△262	△13
フリーCF	△1,888	△2,271	△382
財務活動CF	74	908	833
期末現預金残高	746	1,036	290

(単位：百万円)



【営業CFの内訳】

・税引前四半期純損失	△152
・減価償却費	153
・株式報酬引当金の増加	27
・賞与引当金の増加	567
・役員賞与引当金の増加	41
・退職給付引当金の増加	71
・売上債権の増加	△190
・棚卸資産の増加	△128
・未払費用の減少	△1,501
・前払費用の増加	△188
・法人税等の支払額	△215

【投資CFの内訳】

・有形固定資産の取得	△69
・無形固定資産の取得	△33
・貸付けによる支出	△143

【財務CFの内訳】

・短期借入金の純増	1,800
・長期借入金の返済	△645
・自己株式処分	407
・配当金支払	△599

2

セグメント別の業績状況

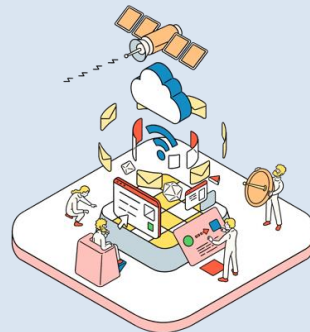
- 災害による被害を最小限にし、日常を取り戻す力を社会に提供
- データが確実につながるように科学的・技術的に支援
- モノづくりとデジタルでイノベーションの進展を加速
- データを効果的に活用し、科学的で納得できる意思決定へ

安心安全を守る



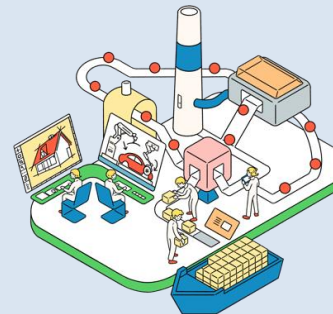
建設・防災

情報を確実に伝える



情報・通信

モノづくりを支える



製造

科学的に決める

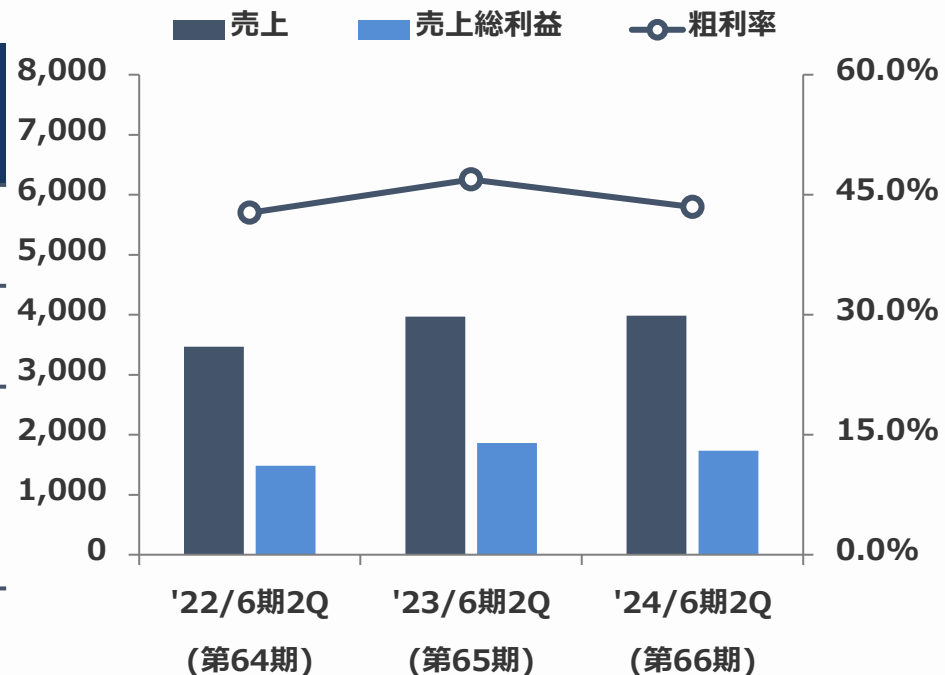


意思決定・
合意形成支援

セグメント別概要 (エンジニアリングコンサルティング 過年度推移)

(単位：百万円)

	'22/6期2Q (第64期)	'23/6期2Q (第65期)	'24/6期2Q (第66期)	対前年同期 増減額
受注高	5,270	5,564	5,851	287
売上高	3,470	3,968	3,987	18
売上総利益	1,483	1,862	1,732	
(利益率)	(42.7%)	(46.9%)	(43.5%)	△ 129
受注残高	6,838	6,807	7,134	326



分析

- 構造設計や耐震診断等の引き合いが多い中、順調に受注を伸ばし着実に遂行
- 全体工事の遅れにより、当社の売上の計上時期が下半期に延期される等の影響を受けている
- 原価回収基準の適用となる案件が増加し、利益率は低下。ただし、売上計上が完了した案件については、前年同四半期と同水準の利益率を維持

業界区分

製造業関連

CAE、熱流体解析、
粒子法、粉体解析、
営業支援ソリューション
等

建築・土木関連

建築構造物解析、
地盤解析等

情報通信関連

電波伝搬解析等

その他・業界横断

社会シミュレーション、
リスク評価、クラウド
型入退室管理プラット
フォーム他

パッケージ販売型の例



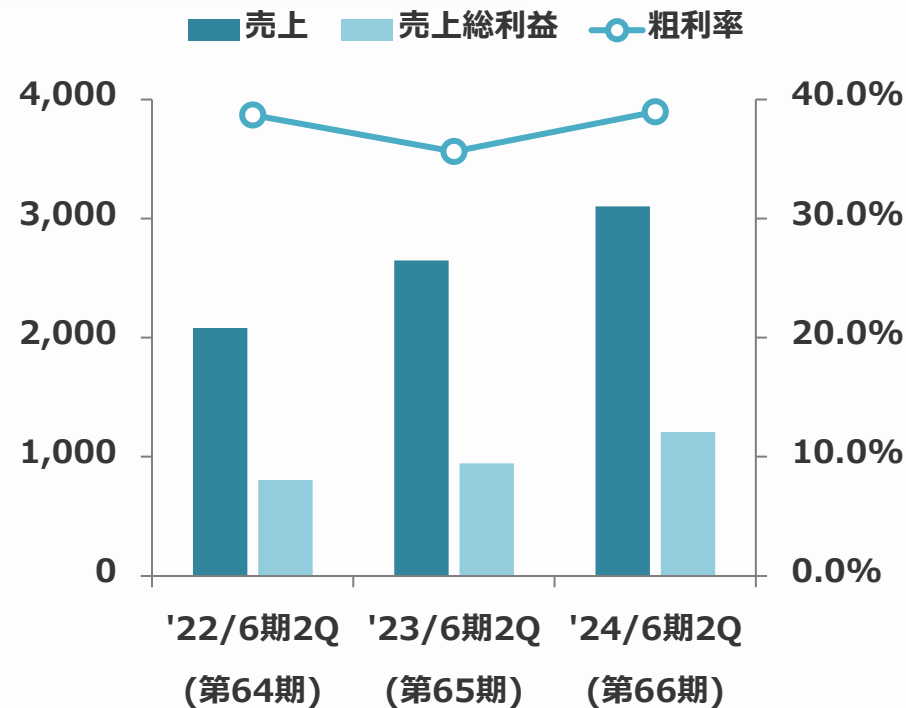
クラウドサービス提供型の例



セグメント別概要 (プロダクツサービス 過年度推移)

(単位：百万円)

	'22/6期2Q (第64期)	'23/6期2Q (第65期)	'24/6期2Q (第66期)	対前年同期 増減額
受注高	2,117	2,460	3,076	616
売上高	2,082	2,649	3,103	454
売上総利益	805	943	1,208	264
(利益率)	(38.7%)	(35.6%)	(39.0%)	
受注残高	1,257	1,470	1,899	428

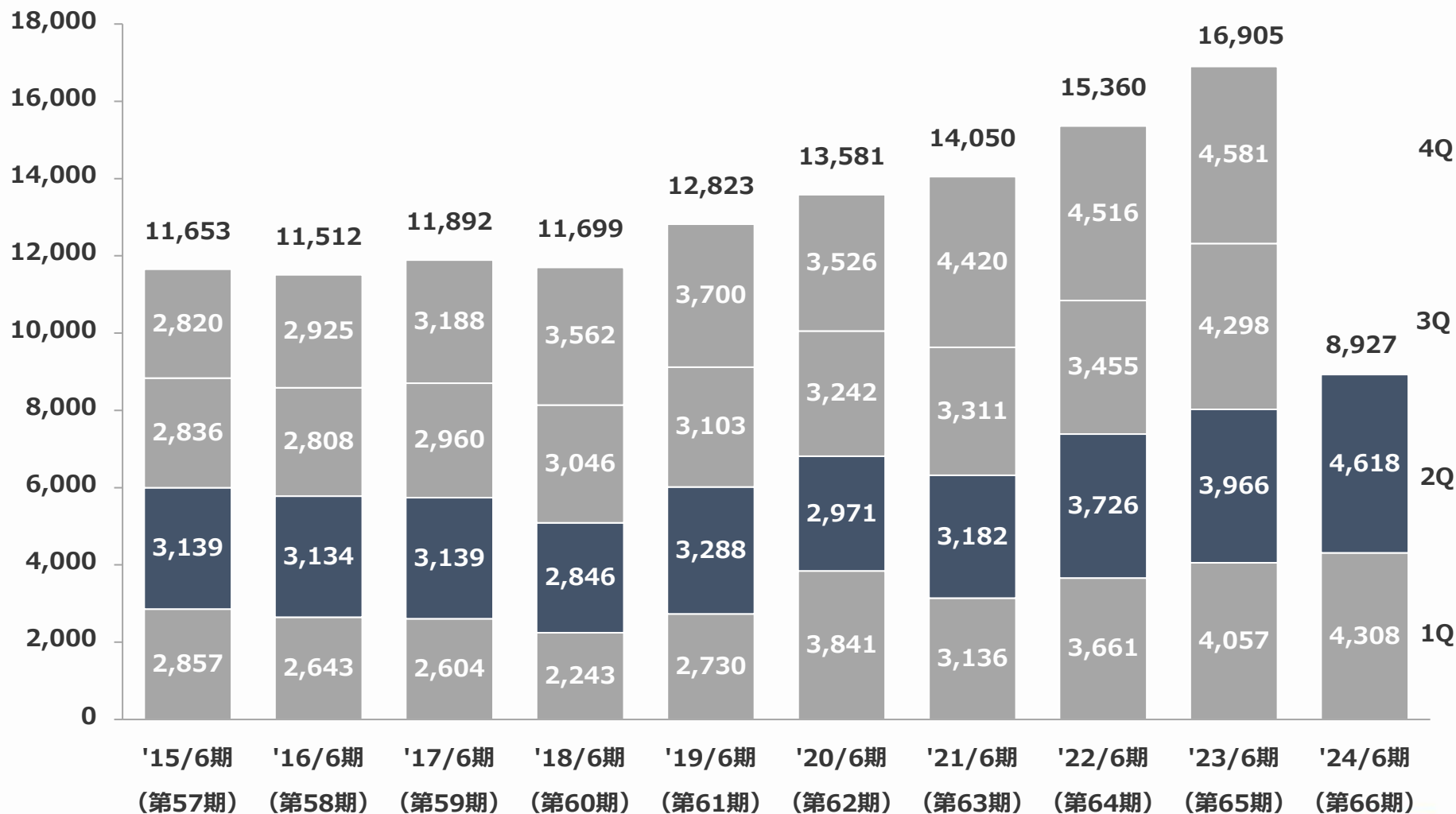


分析

- クラウドサービス提供型ビジネスが売上成長をけん引し、利益率も改善
- クラウド型入退室管理システム (RemoteLOCK) の宿泊市場や自治体への導入が順調に推移し、導入自治体数が90を超える
- 製造業向けパッケージ販売が順調に推移

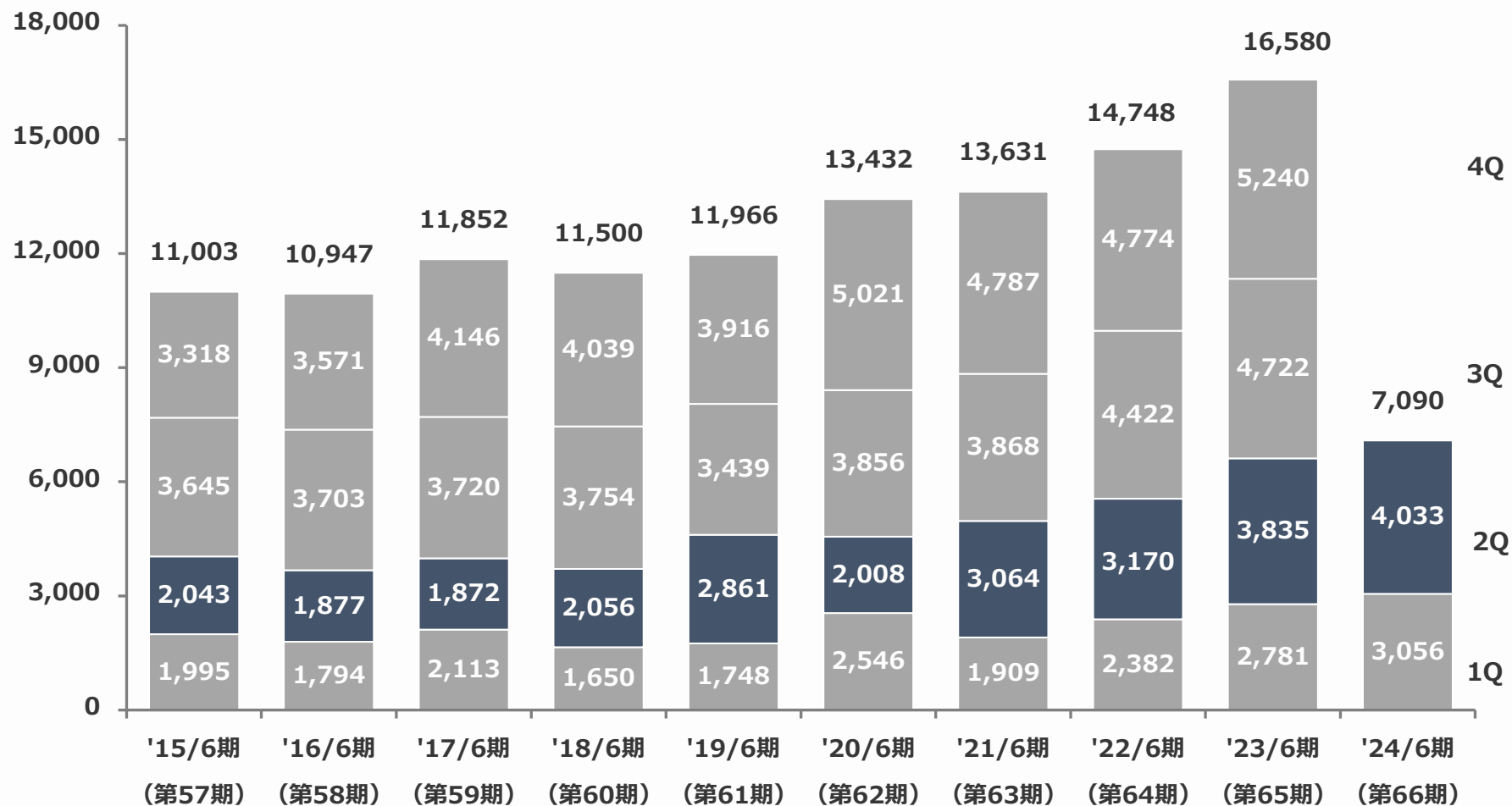
四半期別受注高

(単位：百万円)



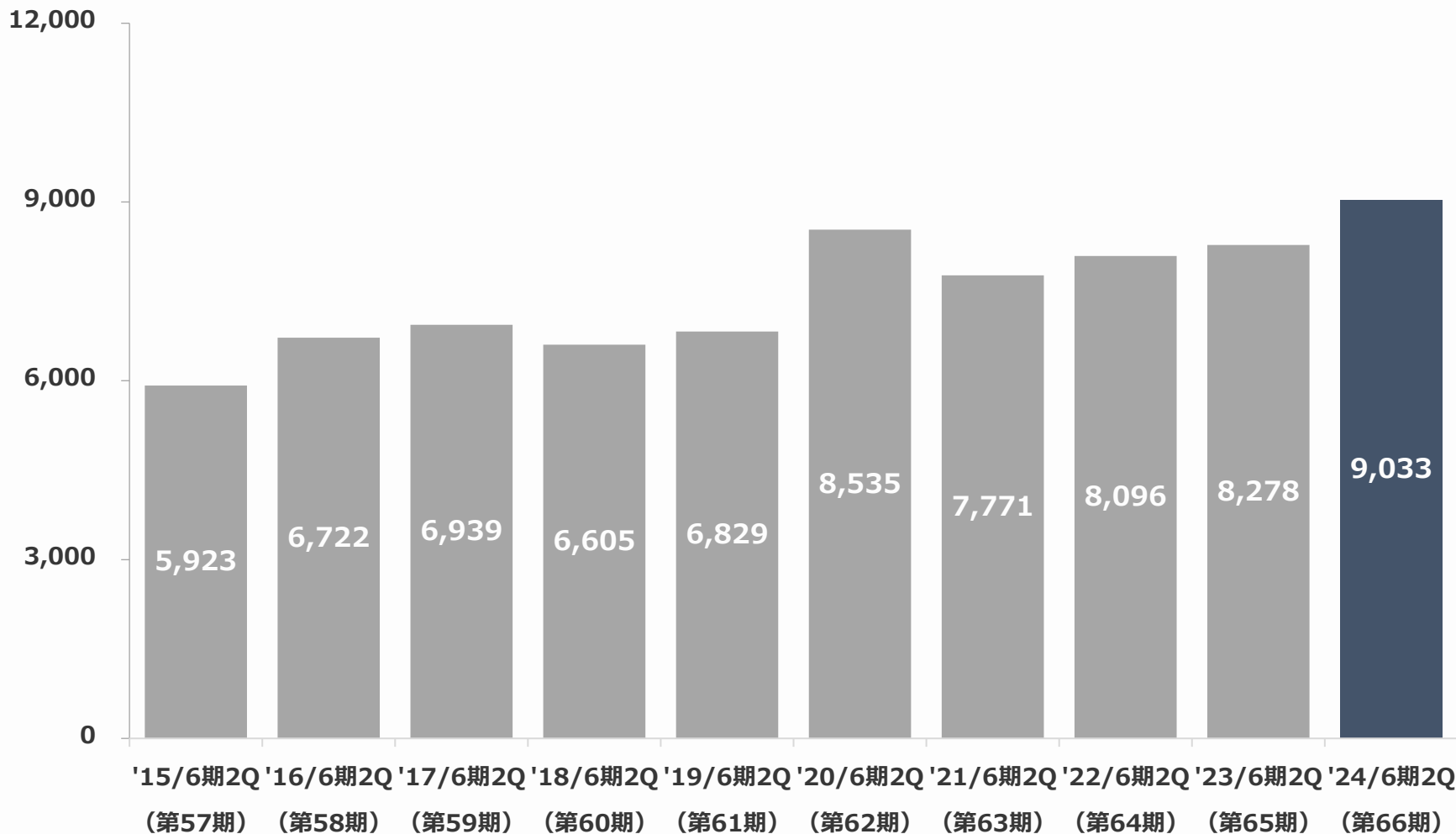
四半期別売上高

(単位：百万円)



受注残高

(単位：百万円)



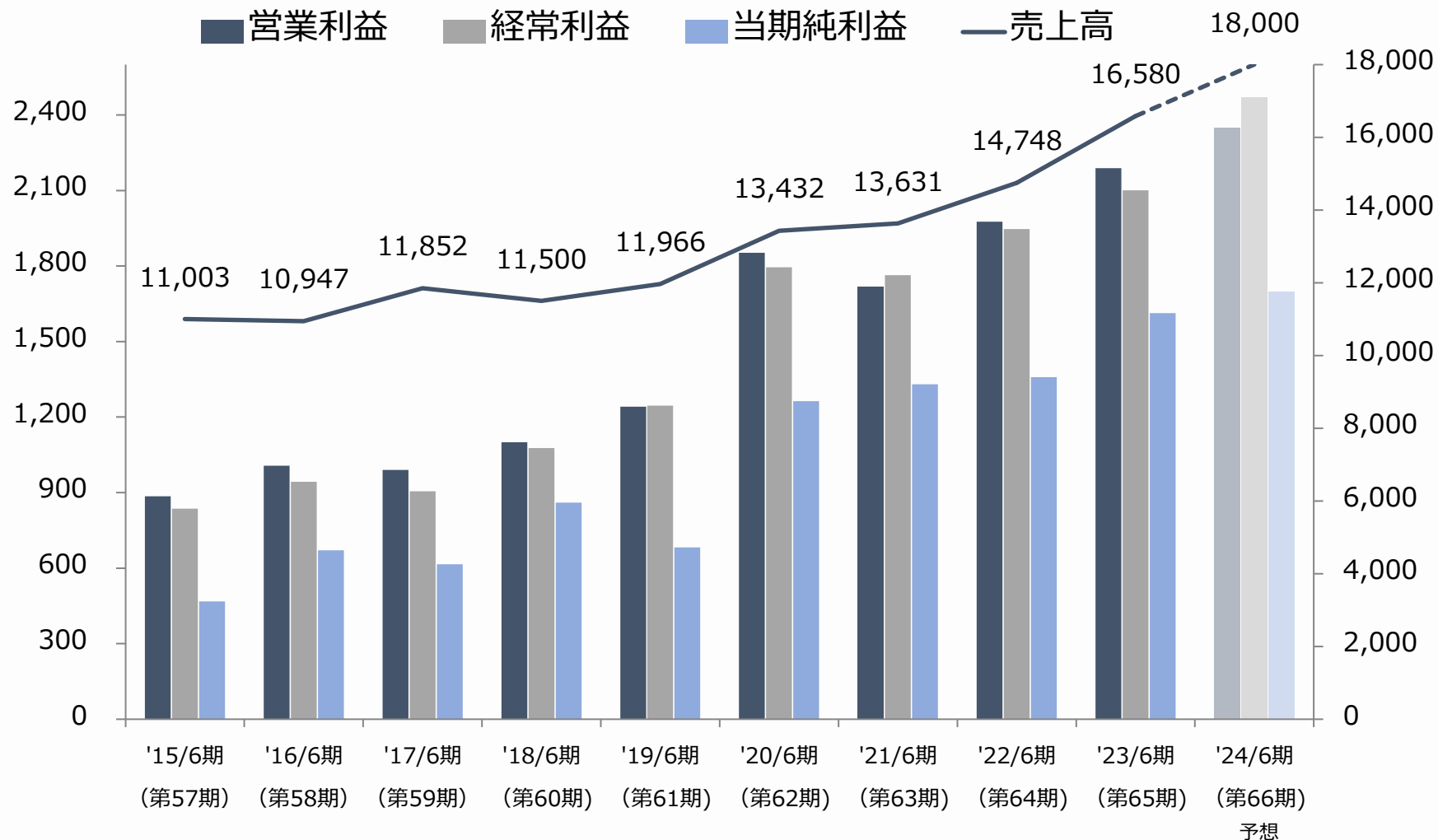
3

期末予想について

過去の業績推移と業績予想

利益 (単位: 百万円)

売上高 (単位: 百万円)



2024年6月期（第66期）期末業績予想

(単位：百万円)

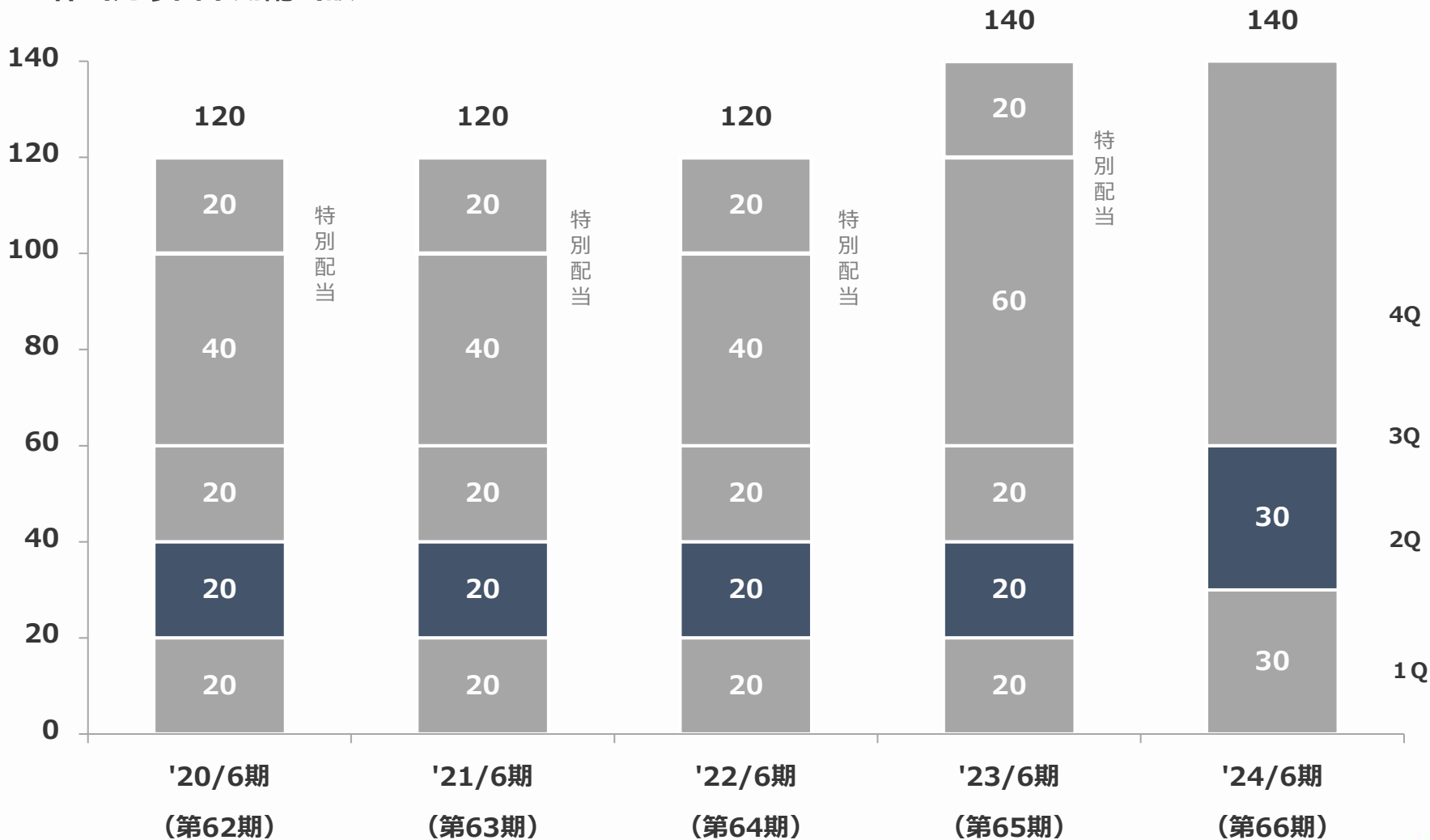
	'23年6月期 (第65期)	'24年6月期 (第66期) 予想	増減額	増減割合
売上高	16,580	18,000	1,419	8.6%
営業利益	2,189	2,350	160	7.3%
経常利益	2,101	2,470	368	17.5%
当期純利益	1,613	1,700	86	5.4%
		(単位：円)		
年間配当金	140 [※]	140		

※普通配当：120円 特別配当：20円

過去配当実績と第66期第2四半期配当金

一株当たり四半期配当額

(単位：円)



業績の見通しに影響を及ぼす可能性のある事項

売上計上 スライド

構造設計等の引き合いが多い中、順調な受注を着実に遂行も、**全体工事の遅れの影響を受け売上計上延期**

外的要因に影響を受けないよう契約の細分化等の対応を実施

プロジェクト の不採算化

契約内容やプロジェクト管理の不備による作業工数の増大や品質低下で、**大幅な採算悪化等を招く可能性**

プロジェクト受注前から最終成果品まで**プロセス毎に全社的な品質マネジメントを推進**

4

より賢慮に満ちた 未来社会の実現に向けて

Innovating for a *Wise Future*

“『工学知』をベースにした有益な技術を
社会に普及させることで、
より賢慮に満ちた未来社会を
ステークホルダーの皆様と共に創出していきたい”

目指すありたい姿

21世紀の日本を代表する知識集約型企業

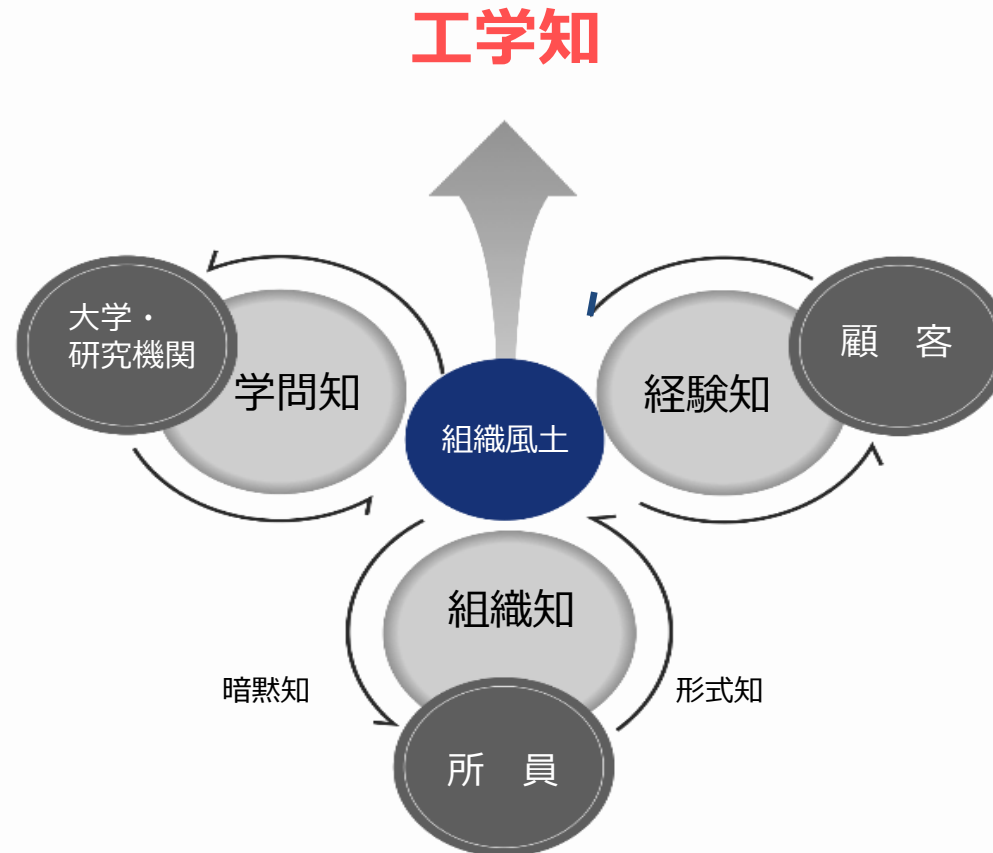
多様な提供価値



1956年 服部正構造計画研究所として創業
1959年 株式会社構造計画研究所 設立

社会のいかなる問題にも対処できるよう
総合的なバラエティに富んだ専門家を集めた工学を生業とした組織を作りたい

大学・研究機関との連携から生まれた「学問知」と企業との実務で鍛えられた「経験知」を掛け合わせることで誕生する「工学知」



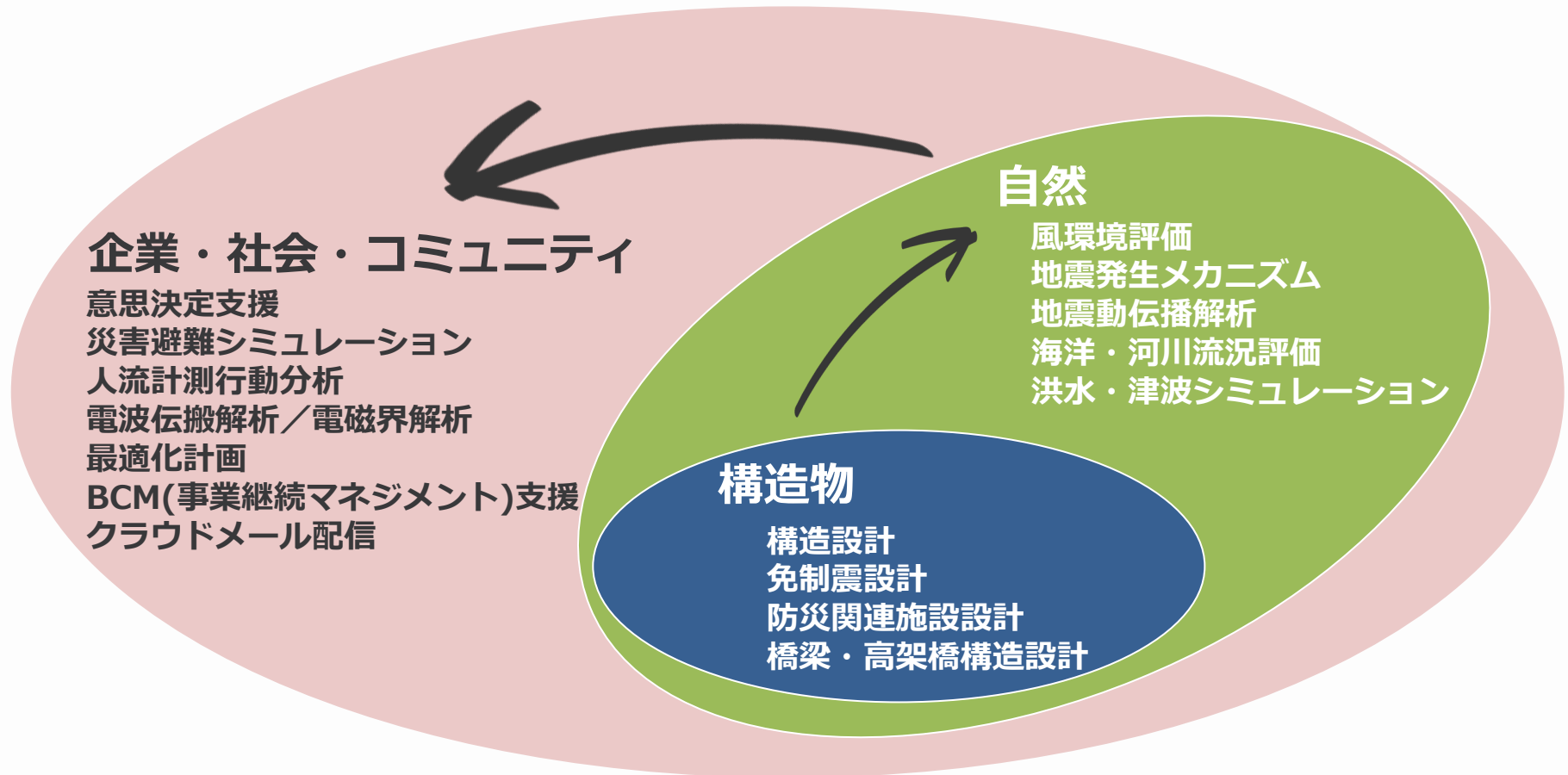


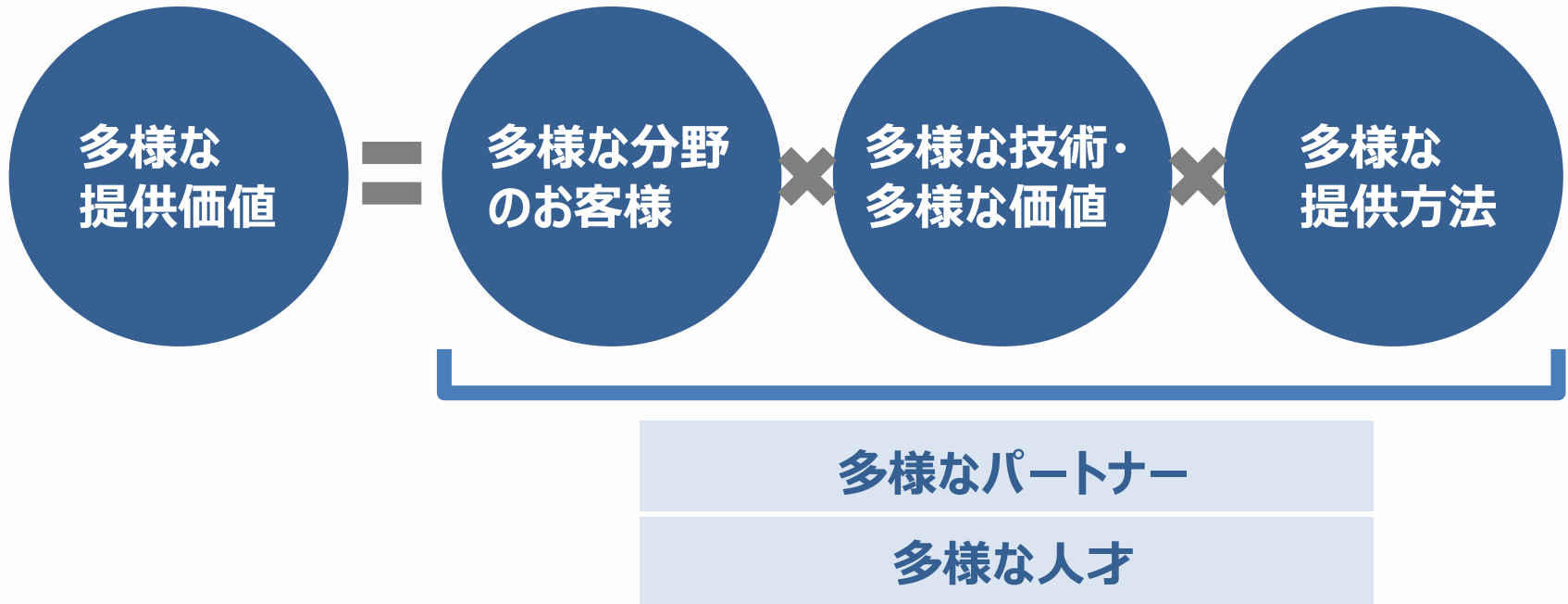
1961年 コンピュータを建築設計業界に導入

構造計算分野でのコンピュータ利用経験を活かしたエンジニアリングソフトウェア開発ビジネス

オペレーションズ・リサーチ分野への進出

工学知に基づいた情報技術の活用により対象事業領域は拡大





多様な価値を提供する事業構造

	建設・防災	情報・通信	製造	意思決定・ 合意形成支援
多様な お客様	デベロッパー ゼネコン 意匠設計事務所 エネルギー施等	官公庁、 通信系研究機関、 通信キャリア等	住宅メーカー、 自動車メーカー 等	官公庁

業界横断

多様な技術 多様な価値	構造設計、 構造解析、 地震動評価、 風況解析等	電波伝搬解析、 電磁界解析、 ネットワーク解 析、メール配信 支援等	熱流体解析、 粉体解析、 最適化等	データ マイニング、 最適化等
----------------	-----------------------------------	------------------------------------------------	-------------------------	-----------------------

コンサル

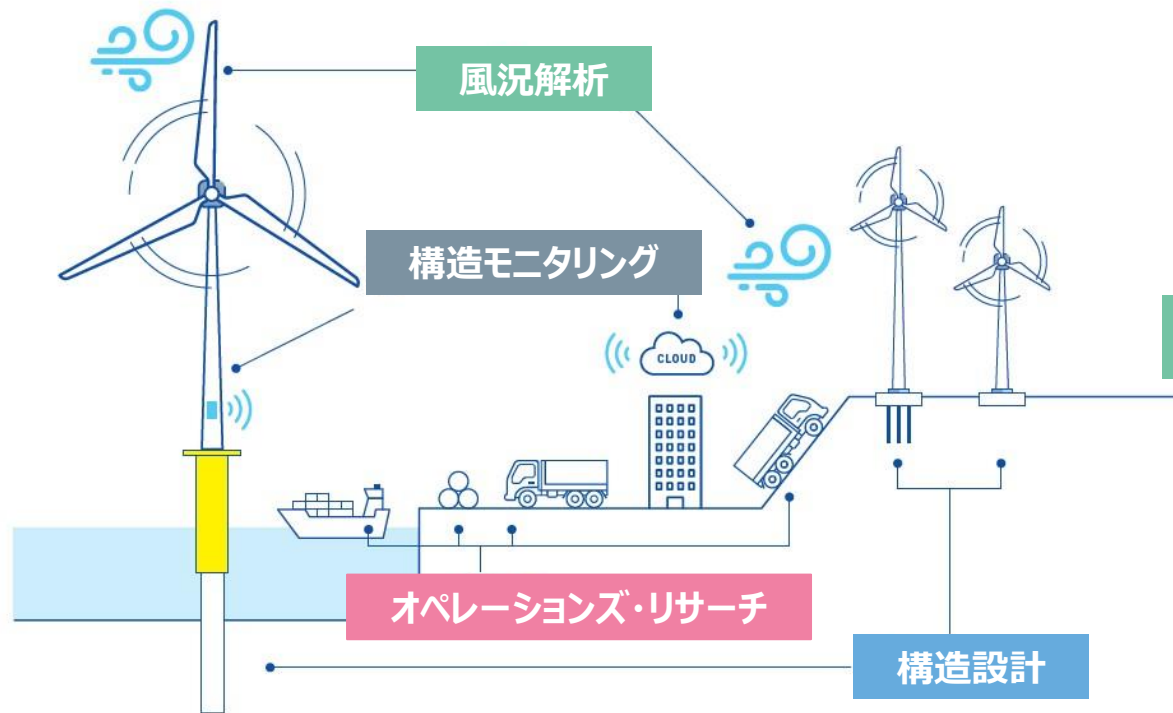
システム開発

プロダクツサービス

クラウドサービス

多様な
提供方法

多様な技術を組み合わせた多様な価値の提供



構造設計

陸上風車基礎構造設計
日本基準でのタワー照査
地震・地盤の詳細な検討
洋上風車基礎構造設計
全体荷重解析

風況解析

観測鉄塔位置検討
観測データの管理・整理
事業性の評価
最適な風車レイアウト検討
認証に向けた評価

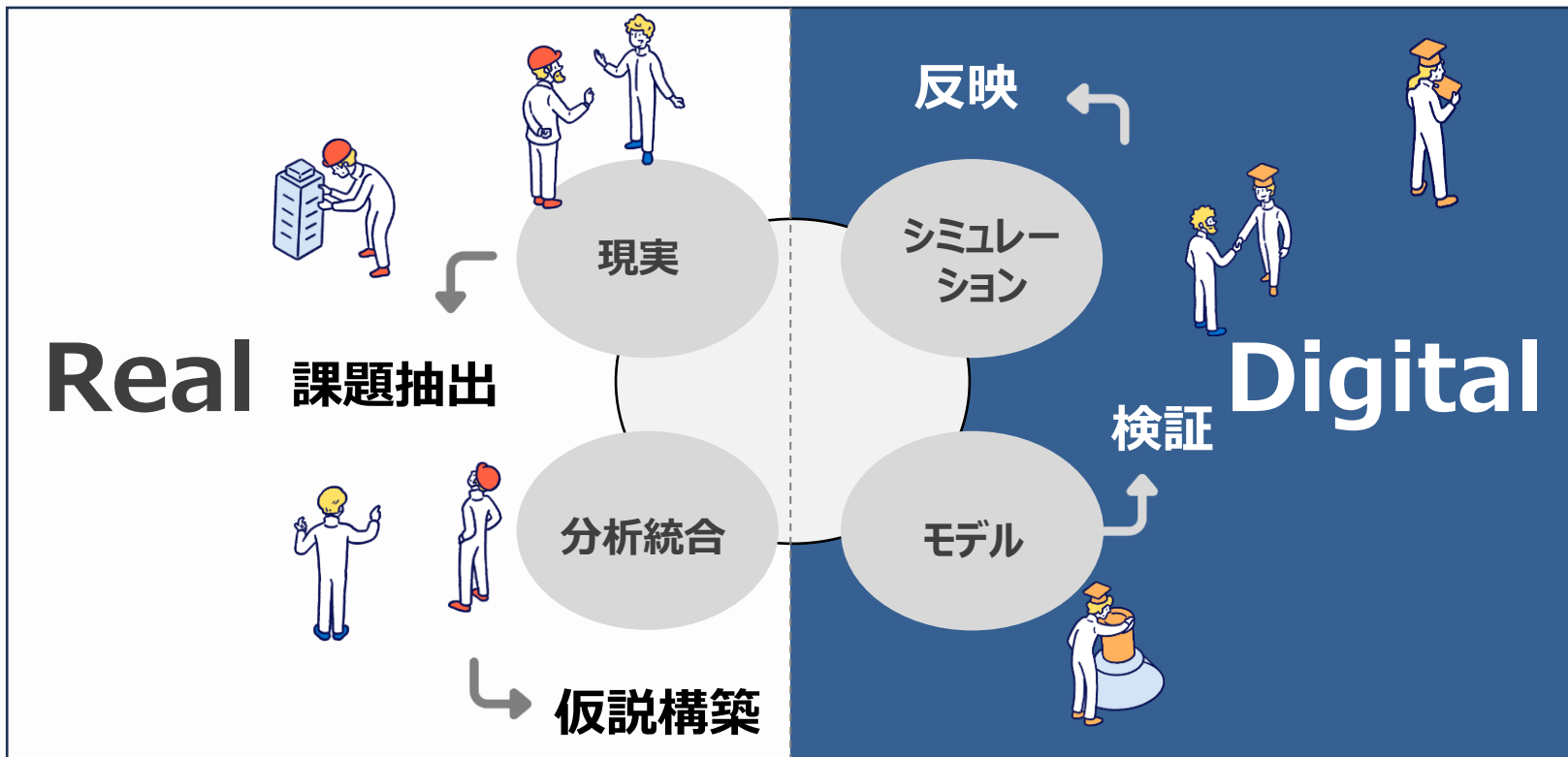
オペレーションズ・リサーチ

海底ケーブルレイアウト
建設・輸送工程策定支援

構造モニタリング

予防保全への活用
余寿命評価への活用

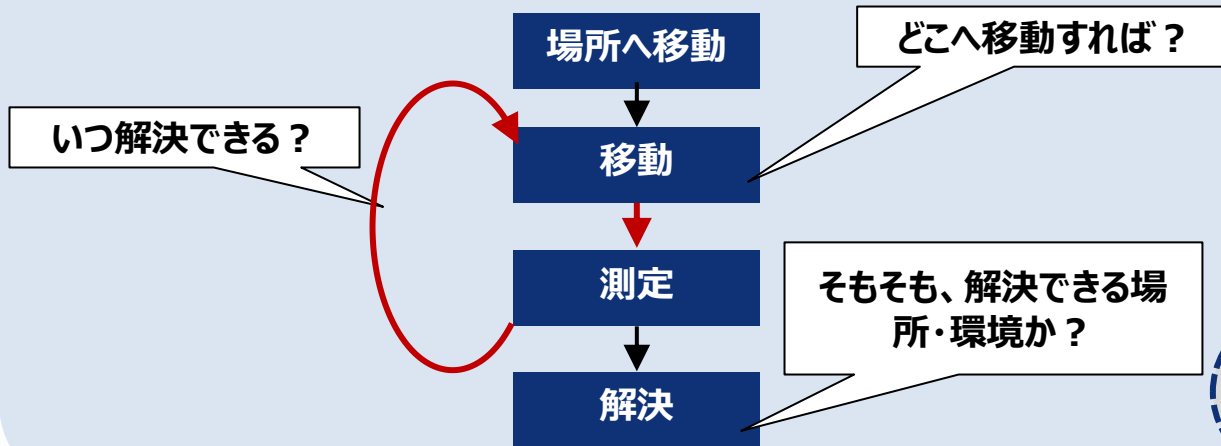
デジタルとリアルをつなぐ 工学的アプローチ (モデリング&シミュレーション)



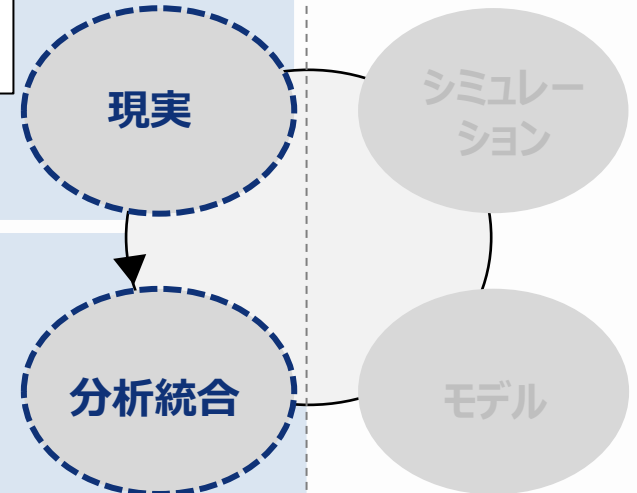
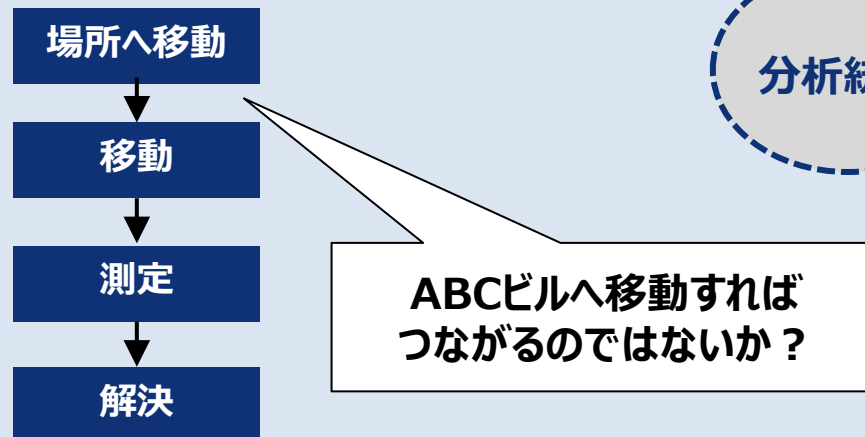
多様な提供価値

➤ エンジニアリングコンサルティング

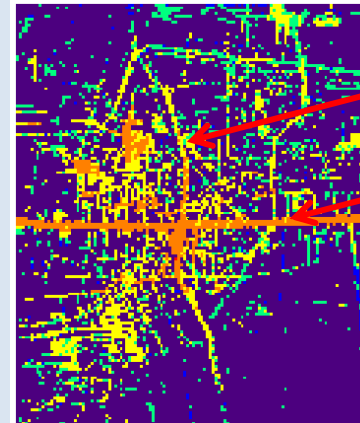
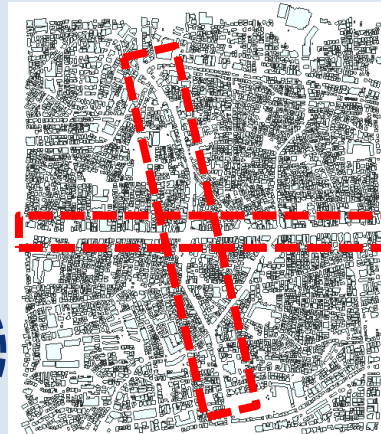
電波が繋がらなくて、困っている



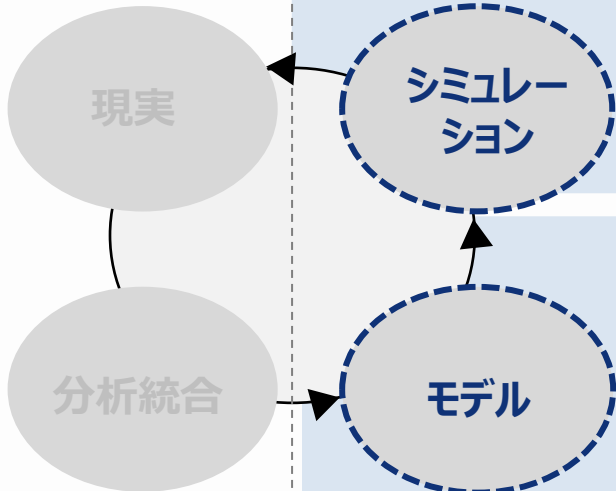
状況のヒアリングと専門家としての知識と経験により 仮説構築



シミュレーション結果に基づき、課題解決の方法を理由と共にご提案



道路沿いでは、電波が遠くまで飛ぶ。



お客様の目的に沿った最適なシミュレーションを設計

3Dモデル

シミュレーションモデル

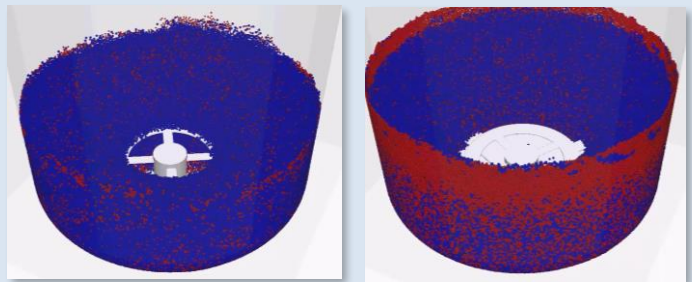
分類	手法 (弊社取扱パッケージ)	計算精度	計算速度	計算範囲
電磁界解析	FDTD法 など (Maxwell方程式を微分・積分方程式で解く手法) 	高精度	低速	狭域 数十m
光学近似	レイトレース法 ・ Imaging法 Rep ・ Ray-Launching法 			数km
推定式	Tow-Ray(2波モデル) Walfish-Ikegami COST-HATA など 広域電波伝搬シミュレータ	低精度	高速	広域



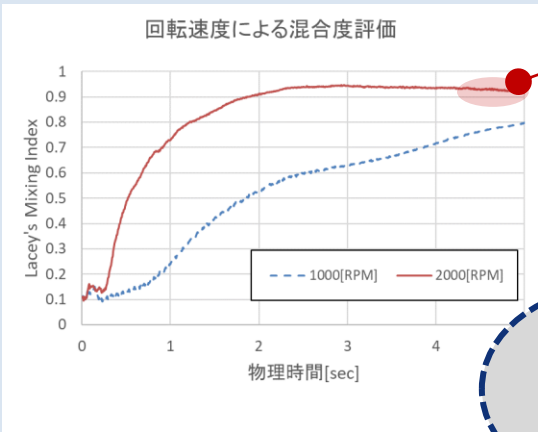
密度の異なる粉体を混合する際に回転速度を高めると混合度が低下し困っている

1,000 rpm

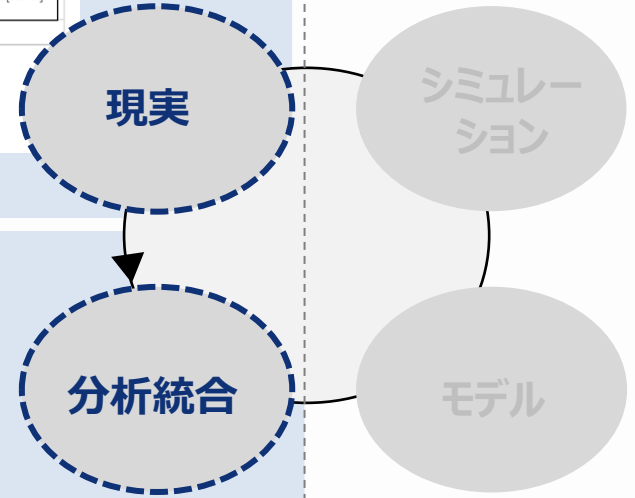
2,000 rpm



● 密度高
● 密度低

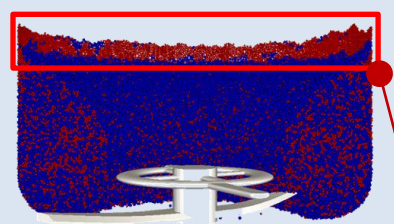


混合度の低下が確認できる



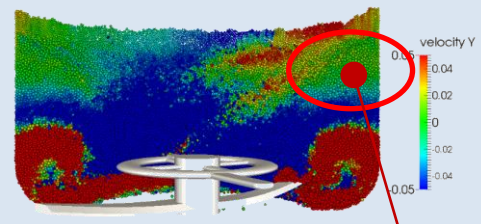
混合度の低下要因の分析・考察

混合状態



表層部で密度の低い粉体材料が分離していることが確認できる

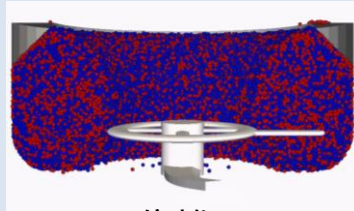
速度分布



垂直方向に回転速度を検証したところ
高速回転の場合、上下に循環していないことが判明
⇒表層部の粒子が停滞

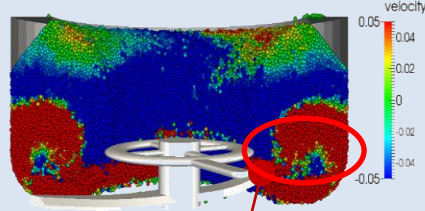
屋根部材の追加による改善効果の検証

混合状態



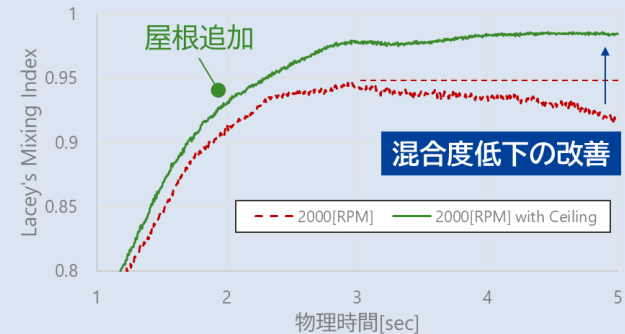
分離していない

速度分布



下降速度の確認

屋根部品による混合度の改良



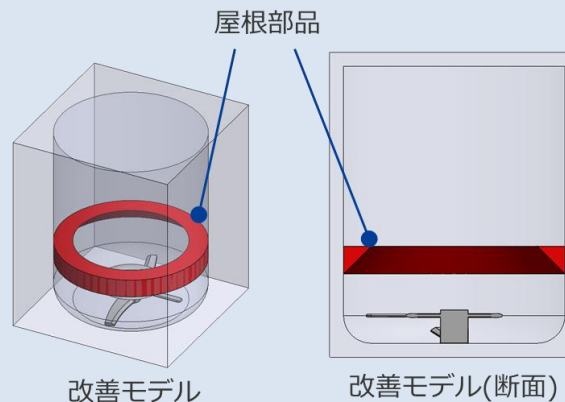
現実

シミュレーション

分析統合

モデル

攪拌機の形状変更により混合度の改善案を検討



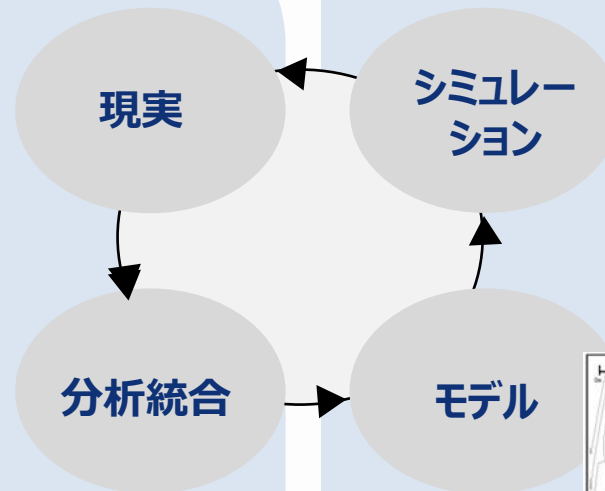
表層部の粒子を
中心に戻す機構を追加

(例) 避難計画策定支援

避難状況の可視化で減災施策検討支援

インプット：現実を分析するために必要なデータを収集

- 住民データ
(人口、年齢分布、居住地、オフィス、家族構成、要介護…)
- 地図情報
(道路、建物、避難場所、信号…)
- 移動手段
(自家用車の有無…)
- 病院、施設情報
- 天候
- 時間帯
⋮



課題を抽出

渋滞、長時間避難となる地域、道路…

施策を検討

道路の拡幅、避難経路の変更、避難開始時間の指示

各施策をシミュレーションで効果検証



(例) 遊園地の混雑緩和施策支援

課題：アトラクション等での混雑発生

- 各アトラクションの利用状況
- 来園者の歩行速度
- アトラクションの滞在時間
- アトラクションの回り方
(好きな順番、近いところから...)
- ⋮



現実

シミュレーション

分析統合

モデル

現実の再現

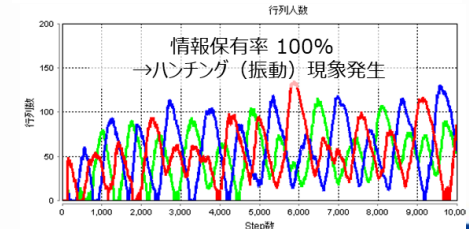
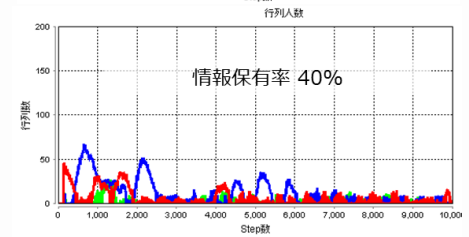
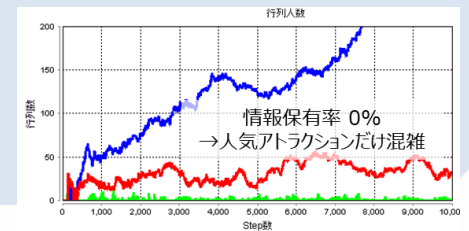
シナリオ設定

混雑情報を与えることで
混雑緩和
(対象)

- ・ 来園者全員
- ・ 来園者の一部
(10%, 20%...)

効果検証

来園者の40%程度に混雑
情報を与えると最も効果的

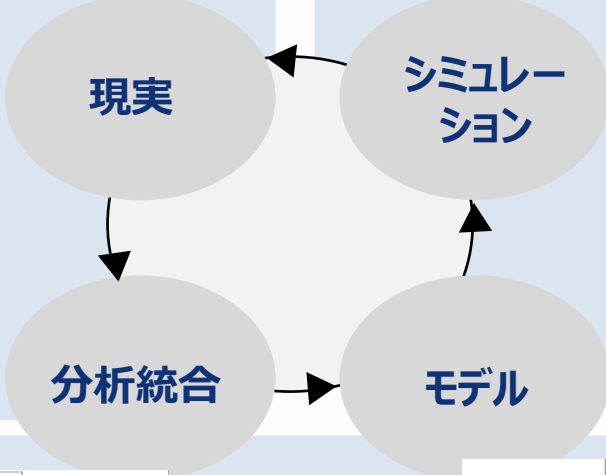


(例) エスカレータ2列乗りの検証

両側立ち、片側空けのシミュレート

課題：片側空け乗車による長い行列発生、エスカレータ歩行による安全性等の問題

- エスカレータの利用状況
- エスカレータの性能 (スピード、幅、段数…)
- 電車ダイヤ
- ⋮



シナリオ設定

3つの乗車パターン

- ・ 両側立ち
- ・ 両側片側空け
- ・ 歩行

×

- ・ 個人移動時間の平均
- ・ 全員移動時間の合計

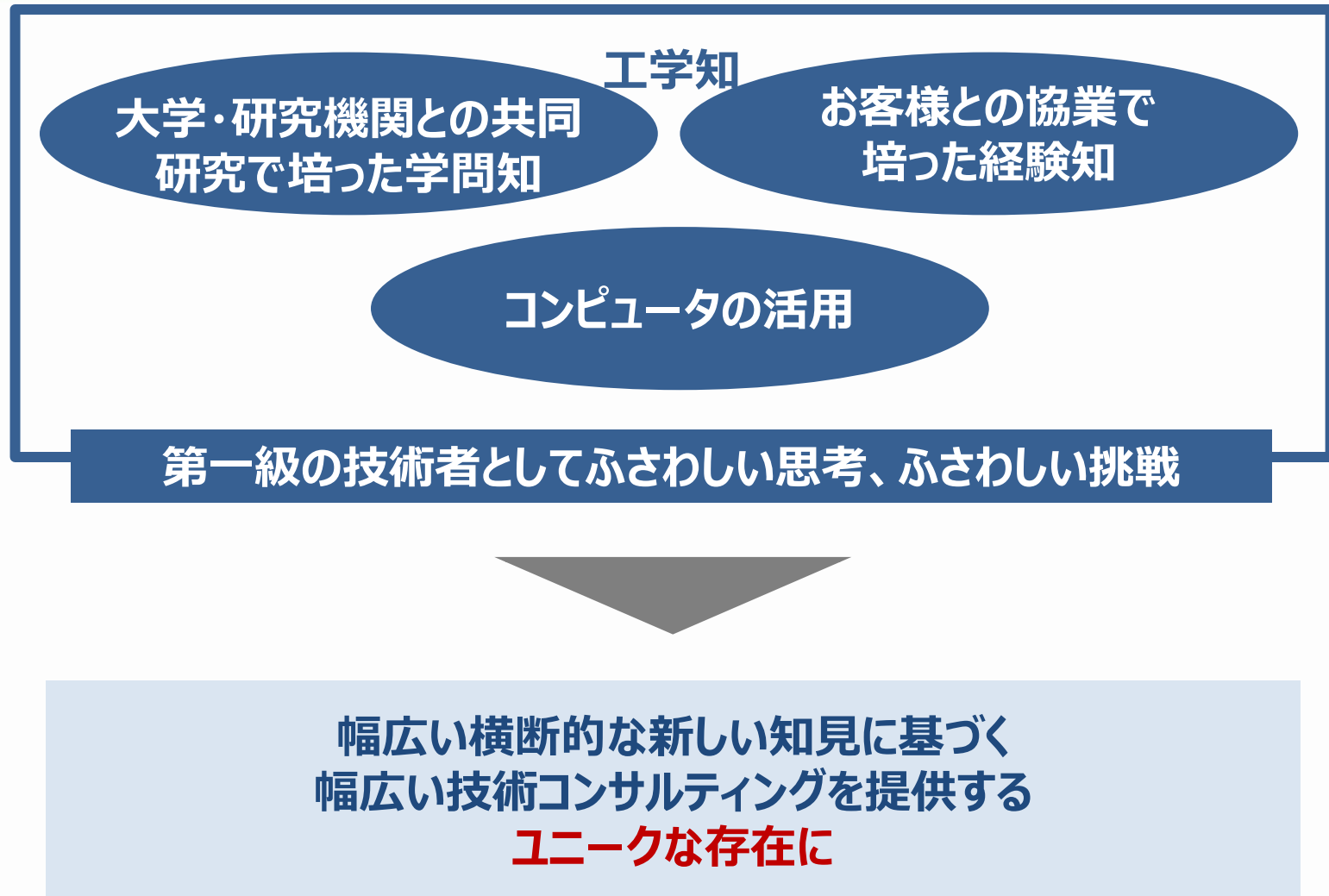
↓

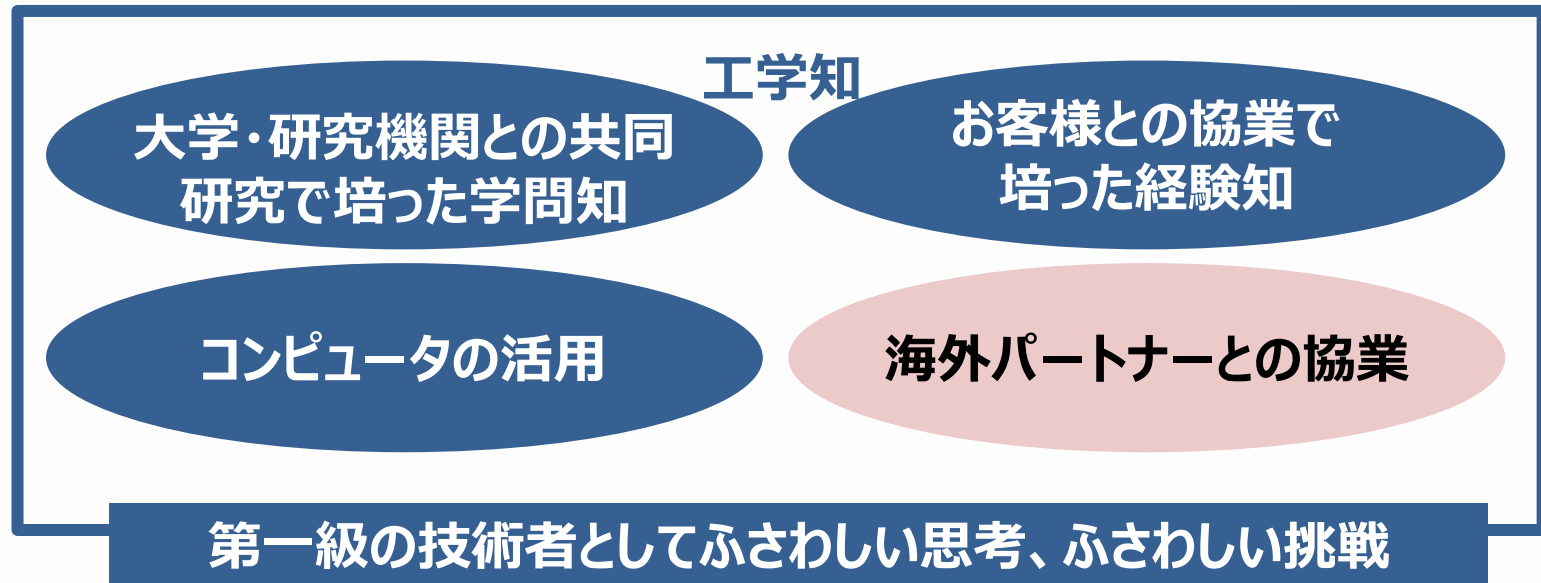
効果検証

片側空けに比べ、両側立ちの方が安全な上、全員移動時間の合計は短い



<https://www.kke.co.jp/>





幅広い横断的な新しい知見に基づく
幅広い技術コンサルティング

- プロダクツサービス
- サブスクリプション型クラウドサービス

益々ユニークな存在に

多様な提供価値

- プロダクツサービス

多様な海外のパートナー



SimScale社
独ミュンヘン



NavVis社
独ミュンヘン



US-Asia Technology
Management Center
米国カリフォルニア州



Keysight
Technologies社
米国カリフォルニア州



Advancing Operational Excellence™
Sphera社
米国イリノイ州



Fraunhofer研究機構
独ザールブリュッケン



Inferics社
独カールスルーエ



Videmo社
独カールスルーエ



Vitracom社
独カールスルーエ



Flonomics社
米国コロラド州



Twilio社
米国コロラド州



RemoteLock社
米国コロラド州



Oracle社
米国コロラド州



Revalize社
米国フロリダ州



Nuand社
米国ニューヨーク州

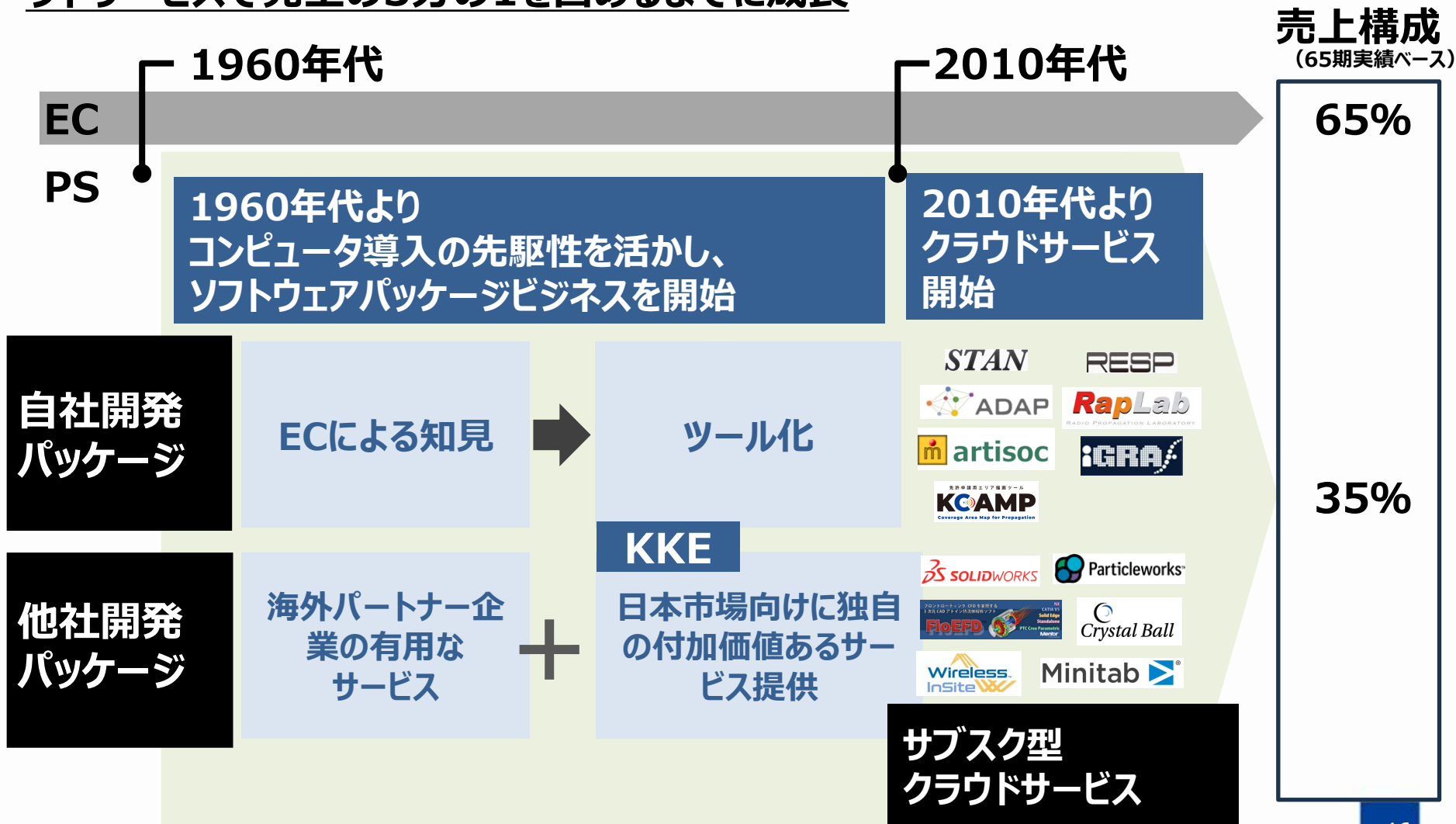


Remcom社
米国ペンシルバニア州



Minitab社
米国ペンシルバニア州

1960年代から始まったパッケージビジネス、2010年代から始まったサブスク型クラウドサービスで売上の3分の1を占めるまでに成長



新しいビジネス

KKEが日本市場向けに独自の付加価値あるサービスを提供。KKEの高い価値提供力とサブスクモデルが相まって高成長実現

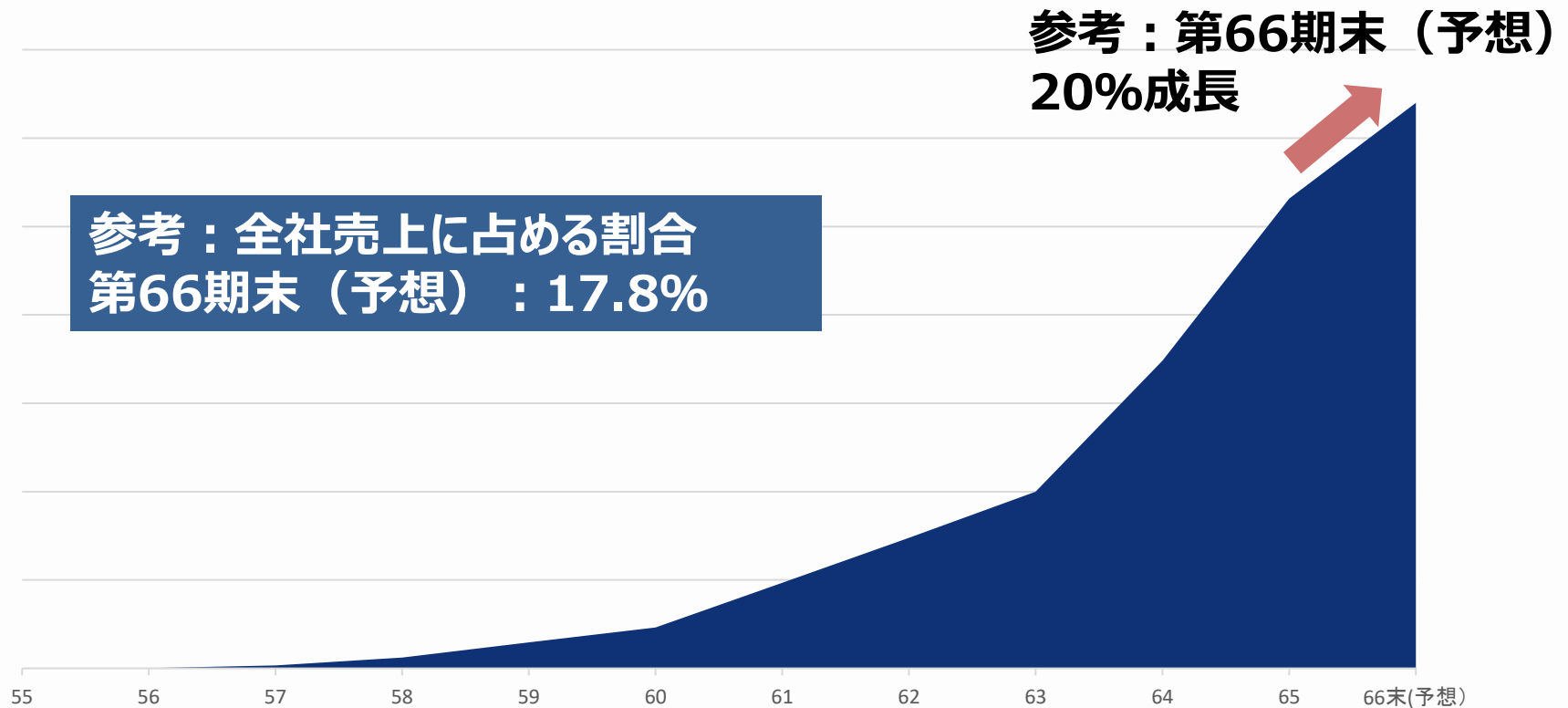


(背景)

過去から培われてきた「プロフェッショナルとして第一級の顧客満足度を獲得すること」へのこだわり

海外パートナーとの連携によるSendGrid, RemoteLOCK, NavVisの3つのビジネスがプロダクツサービスの成長をけん引

新規プロダクツサービス売上推移



ケースに応じて資本提携を実施

Twilio
SendGrid

クラウドベースメール配信サービス

RemoteLOCK

クラウド型入退室管理システム

NavVis

現場3Dデータプラットフォーム

投資先

投資先

オープンイノベーションで様々なパートナーと共創

Any Brands, Any credential, Any Software

ハードウェア連携

- 自社ロック
- 他社ロック
- 入館ゲート
- 駐車場ゲート
- ロッカー 等

1日10万組以上の
入室を管理

領域を
拡大



各種サービスとのシステム連携

- 予約システム
 - 精算システム
 - ホテルシステム等
- 50以上の公開サービスと連動



BtoBtoCビジネス

顧客

宿泊施設

自治体

商業施設

利用者

遠隔管理&自動化でお客様のビジネスの「カギ」に

サブスク型別荘 「SANU 2nd Home」



<https://2ndhome.sa-nu.com/>

完全無人書店 「ほんたす」



<https://hontasu.com/>

完全個室プライベートサウナ 「ROKU SAUNA」



<https://rokusauna.com/>

宿泊施設 事例

全国の自治体に広がる 導入実績

追加投資

北海道ボールパーク内高級ヴィラ 「VILLA BRAMARE」



<https://villa-bramare.com/>

<https://www.kke.co.jp/>

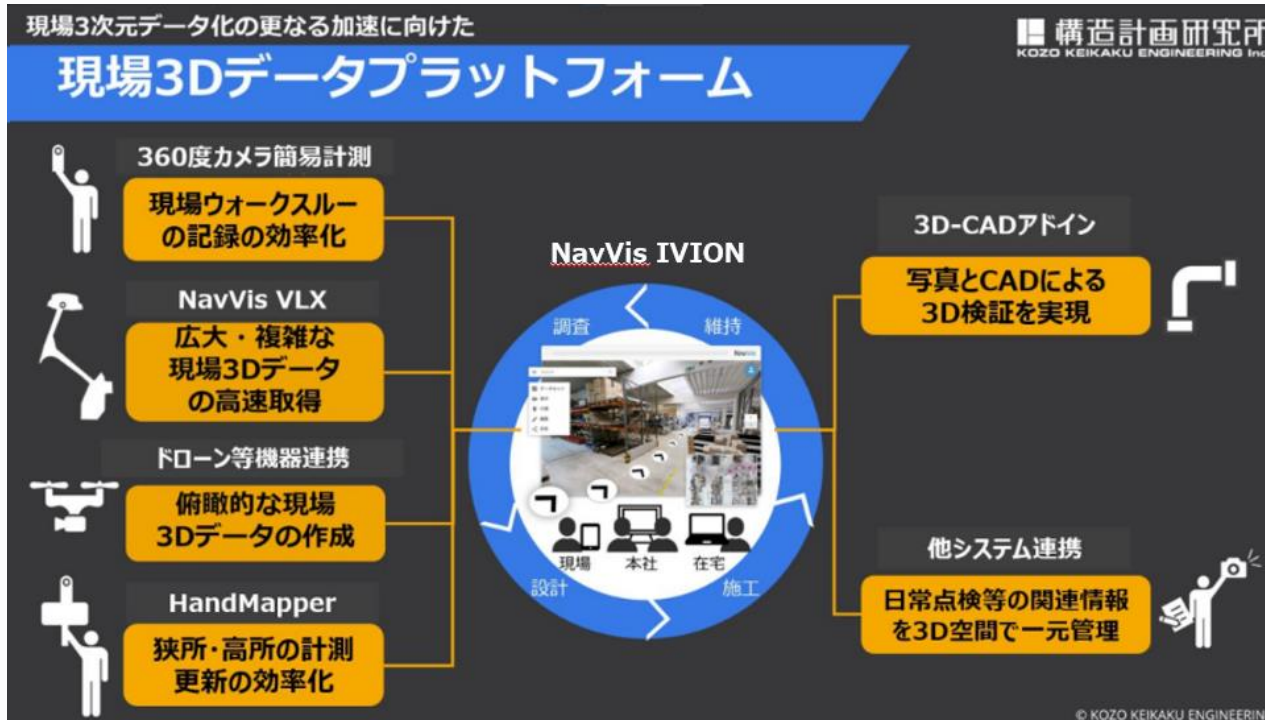
90以上の
自治体が導入



2024年1月
開発元RemoteLock社へ

Series B
4百万ドルの追加出資

利便性向上・適用シーン拡大のための技術開発が着実に進み、KKE独自の価値を提供



ビジネス
展開

ハード

クラウド

コンサル



顧客

建築土木

製造業

測量

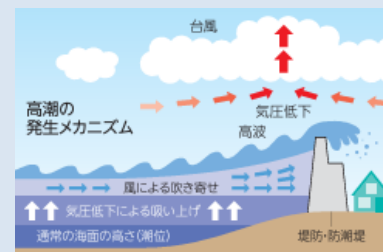
東京大学と共同開発した最先端の数理工学技術を活用した洪水予測システム「RiverCast」。高潮やダム流入量予測にも活用。



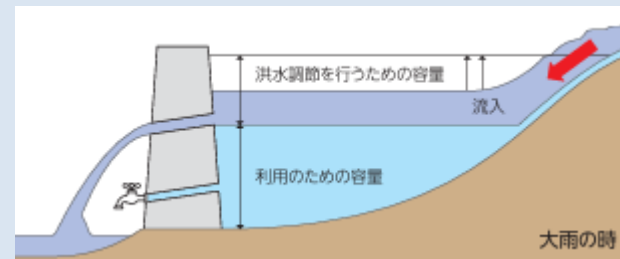
RiverCast

- 未経験の洪水の規模の予測にも対応
- 過去のデータを活用することで、従来の予測システムの約10分の1の価格でスピーディに導入

✓ 高潮予測：水門や排水ポンプ操作支援



✓ ダム流入量予測：放流操作支援



全国50箇所以上で運用中

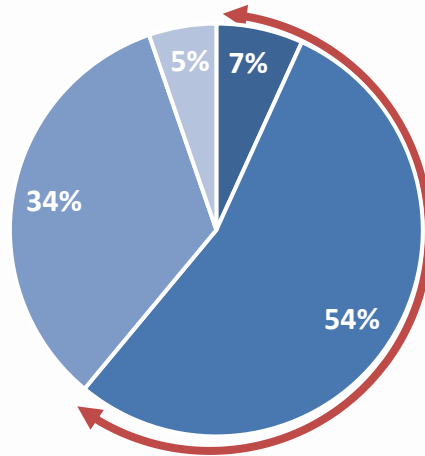
多様な人才

対象：66期2Q末在籍所員

社会のいかなる問題も対処できるように人才の多様性を重視

最終学歴

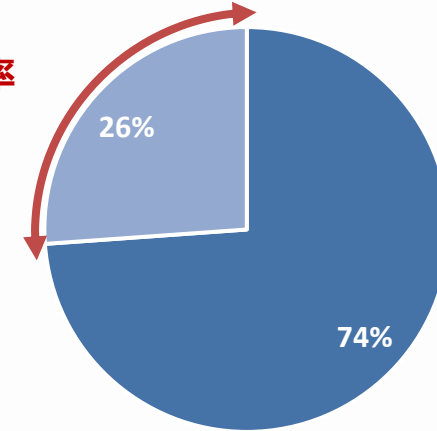
博士・修士
約6割



- 博士
- 修士
- 学士
- その他

性別

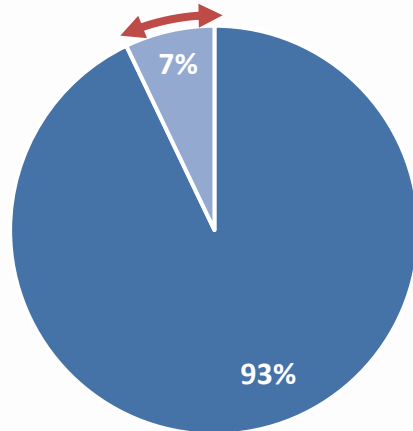
女性比率
26%



- 男性
- 女性

国籍

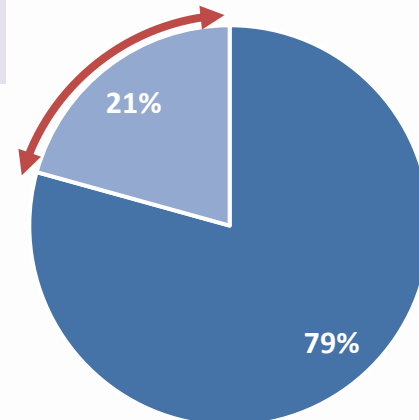
外国籍
7%



- 日本
- 外国

採用形態

中途採用
21%

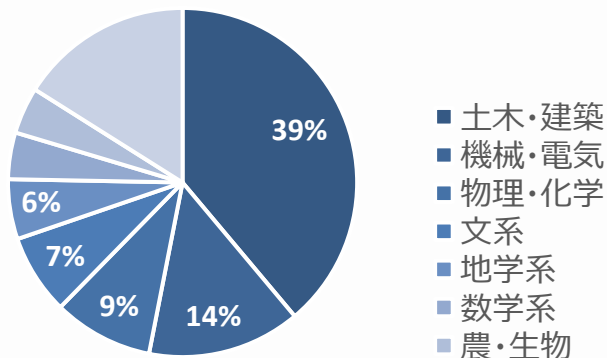


- 新卒
- キャリア

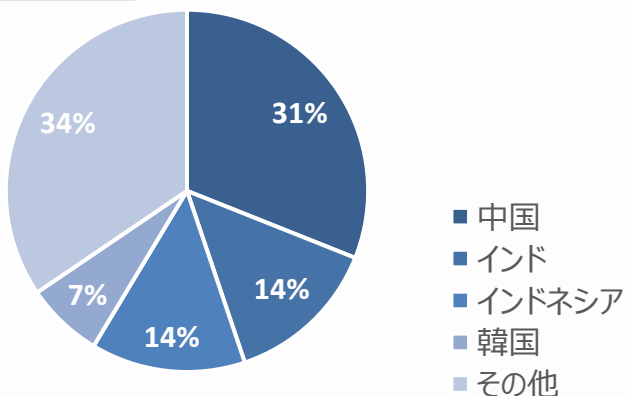
過去5年間の採用者の内訳

新卒採用

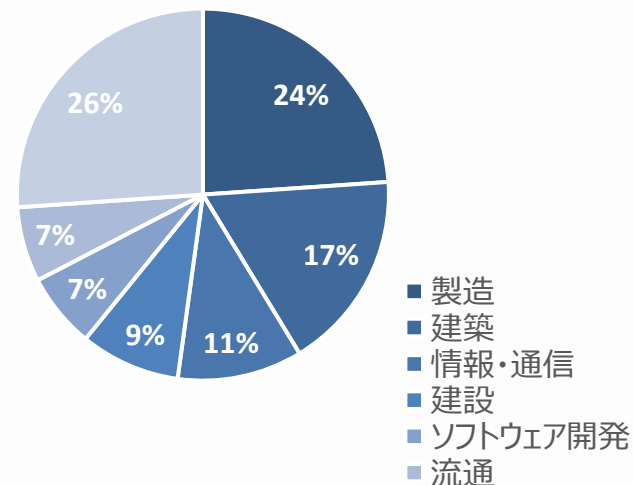
専攻



外国籍国別



中途採用



2024年 新卒入社数 (予定)

33名

社外活動を通じた自己研鑽の奨励

□ 大学等での講師活動

26名、延べ41活動

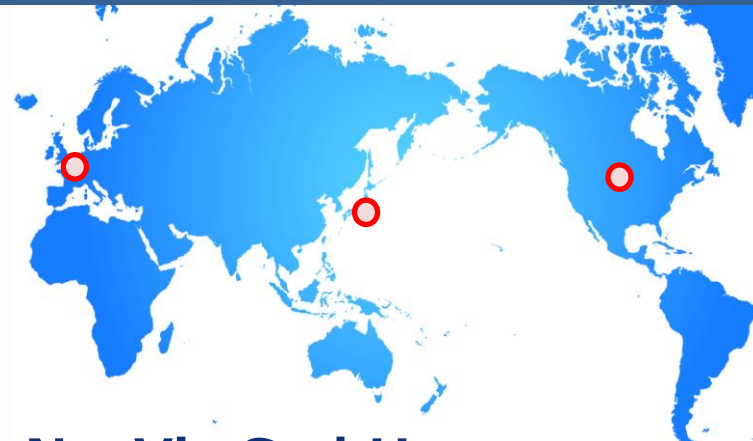
□ 社外団体での委員会・研究会等活動

83名、延べ202登録

□ 社外発表論文

学会発表	69
論文	16
寄稿	13
出版	4

国内外への出向



- NavVis GmbH
- RemoteLock, Inc.
- (株)産学連携機構九州 (九大 TLO)
- (株)PARA-SOL
- 経済産業省 電力・ガス取引監視等委員会
- 東京大学 生産技術研究所
- AK Radio Design(株)

持株会社化

1956年 服部正構造計画研究所として創業

1959年 株式会社を設立

受託型エンジニアリングコンサルティング業務

1980年代

ソフトウェアパッケージ販売サービス開始

2010年代

サブスクリプション型のクラウドサービス開始

持株会社化

事業の多様化に即した

- 自律的・機動的な意思決定と事業運営
- ミッションの明確化
- 人を中心とする経営資源の適切な配分
→グループとして持続的な成長を目指す

2056年

創業100周年に

日本を代表する知識集約型企业であるために

持株会社体制への移行前



持株会社体制への移行後（予定）



単独株式移転方式により新設(予定)

(株)構造計画研究所

従来のコンサルティング事業による
安定的な収益確保

(株)PARA-SOL (熊本)

多様な働き方の提供

(株)KKEスマイルサポート

多様な働き方の提供

International Logic Corporation

(株)リモートロックジャパン

更なる成長の加速

(株)構造計画研究所
ホールディングス

✓ スケジュール

臨時株主総会	2024年3月18日（予定）
当社上場株式廃止日	2024年6月27日（予定）
持株会社設立登記日	2024年7月1日（予定）
上場日	2024年7月1日（予定）

✓ 株式移転の方式

当社を株式移転完全子会社、持株会社を株式移転設立完全親会社とする単独株式移転方式

✓ 株式移転に係る割当の内容（株式移転比率）

	株式会社 構造計画研究所 ホールディングス (株式移転設立完全親会社)	株式会社 構造計画研究所 (株式移転完全子会社)
株式移転比率	1	1

Innovating for a Wise Future

Wise Future : 「賢慮」に満ちた未来社会の構築に向けて

Innovating : 持続的に社会へ価値を提供するために進化し続ける

“『工学知』をベースにした有益な技術を
社会に普及させることで、
より賢慮に満ちた未来社会を
ステークホルダーの皆様と共に創出していきたい”

【お問い合わせ先】

IR室

E-MAIL : [i r @ k k e . c o . j p](mailto:ir@kke.co.jp)

HP : [h t t p s : // w w w . k k e . c o . j p](https://www.kke.co.jp)

Innovating for a **Wise Future**